



ふたをあける わくわくの毎日

～おいしい給食を中学校に～



市長だより

中学校生活の3年間は、心も体も大きく成長しますから、とても大切な時期です。おいしくて栄養バランスのいい食事で、子どもたちの成長をおうえんしたいです。お弁当をつくる時間や手間を少なくして、学校へ行くときの荷物も軽くなればいいと思います。そこで、中学校での「全員給食」を2026年度から始めることにしました。市民のみなさんが長いあいだ待っていた中学校の給食です。

いろいろな種類の食材や料理をとおして、将来の食生活をゆたかにするため、市の中学校給食専門の栄養士がくふうして、献立を考えます。地元でできた食材を中心にしたメニューや、季節の行事の食べ物、世界のいろいろな国の料理、生徒のみなさんが考えたメニューなど、バラエティゆたかで「毎日ワクワクする」給食をめざします。Instagramでも、毎日の献立の写真や食べることについての豆知識を発信しますので見てください。たくさんの方々に給食のすばらしさを知ってもらいたいと思います。

生徒たちが、みんなで給食を食べて、お昼の時間を楽しくすごすことができるように、これからも力を入れていきます。

よこはましちょう やまなかたけはる
横浜市長 山中竹春

すべての中学生においしい給食をできるだけ早くとどけたい

2026年度から 全員給食スタート!

中学生の成長に必要な、栄養バランスのとれた食事を毎日提供すること。そして、さまざまな食材や料理を食べて、いろいろな食文化を学びながら、食生活をゆたかにすること。それを目的にして、2026年度からデリバリー型給食*による「みんなで食べる全員給食」がスタートします。

*デリバリー型給食は、市の中学校給食専門の栄養士が、おいしさや地元食材を使うことを中心に献立を考えて、ランチボックスに盛り付けてとどける方法です。あたたかいごはんと汁物がつきます。

もっと知ってほしい。中学校給食のほんとうのこと。

1食330円(ごはん・おかず・汁物・牛乳がセット) /

生徒が考えたメニュー



メニューコンクールで優秀賞をとった生徒の献立をとりいれています。

地産地消メニュー



横浜市や神奈川県でつくられた新鮮な食材を使った献立を出します。

季節の行事食



十五夜などの行事のときの食べ物や、季節を感じさせる食材を使った献立を出します。

給食をささえる 栄養士からのメッセージ

栄養のバランスがとれていることに加えて、季節の行事食や世界の食事など、食べることでいろいろな世界に触れ、生徒のみなさんが毎日わくわくするような給食を考えています。



生徒の声



- 最初はどんなものだろうと思って一度たのんでみたら、おいしかったので、それからはたのむようになりました。
- お弁当を持って来なくてすむし、助かっています。
- おかずの量が少ないかなと思ったけど、栄養バランスはいいし荷物もへるし、最高。
- あたたかい味噌汁は体があたたまって、とても満足しています。

保護者の声



- いつも栄養のバランスがよく考えられているメニューだと感心しています。
- 給食の献立の話などで、子どもとの朝の会話がふえました。
- 毎日弁当をつくらなくてよくなったので、ほんとうに助かっています。
- 家庭ではつくりにくい料理もあるので、さまざまな味を知ってほしいと思っています。

国の調査では、「給食がある日」は「給食がない日」よりも、必要な栄養をとれる割合が高いという結果があります。いつもの食事でも不足しやすいカルシウム、鉄などの栄養素を多くとれることも、給食の特徴です。



「文部科学省の学校給食における児童生徒の食事摂取基準策定に関する調査研究協力者会議(2020年12月)」より

新しい横浜の中学校給食にむけてますます進化します!



量の調整

「量が足りない・多い」の声にこたえる給食をめざします。



アレルギー対応

卵・乳・小麦などのアレルギーのある生徒のことも考えた給食をめざします。



あたたかさ

よりあたたかい給食を出すことをめざします。

給食のこと、教えて！

かわいいことはこちら



Q 給食ってハマ弁のこと？

A デリバリーという点では同じですが、中はまったくちがいます。給食は、市の中学校給食専門の栄養士が毎日の献立を考えて、おいしさ、地元食材を使うこと、栄養バランスを大切にすること、バラエティゆたかな献立になっています。



Q どうして横浜市はデリバリー方式なの？

A すべての中学生においしい給食をできるだけ早く提供できる方法だからです。もし学校の中に新しく給食室をつくと、多くの学校で校舎の建てかえなどが必要になります。それでは、全員給食を実現するまでに30年以上かかってしまいます。デリバリー方式ならば、3年後に開始することができます。

中学校給食のInstagram始めています

～給食の魅力や食べ物についての豆知識を紹介します～



毎日の献立の
写真や食べ物
についての
豆知識がのって
います



YouTubeで山中竹春横浜市長の
メッセージ動画も配信しています。



給食にかける思い、
給食の魅力について話
しています。ぜひ見て
ください。



きくところ

教育委員会事務局健康教育・食育課 TEL:045-671-4136 FAX:045-681-1456

よこはまし ちゅうきけいかく 横浜市中期計画2022～2025ができました

計画では、2040年ごろの横浜がありがたい姿をえがいて、それが実現するように、2030年ごろを考えた基本戦略を示しています。

2040年ごろありがたい姿

いっしょにめざす都市のかたち 明日をひらく都市

横浜にかかわるすべての人が前をむき、希望にあふれた毎日を送れる、世界のどこにもない都市になることをめざします。

2030年ごろを考えた戦略

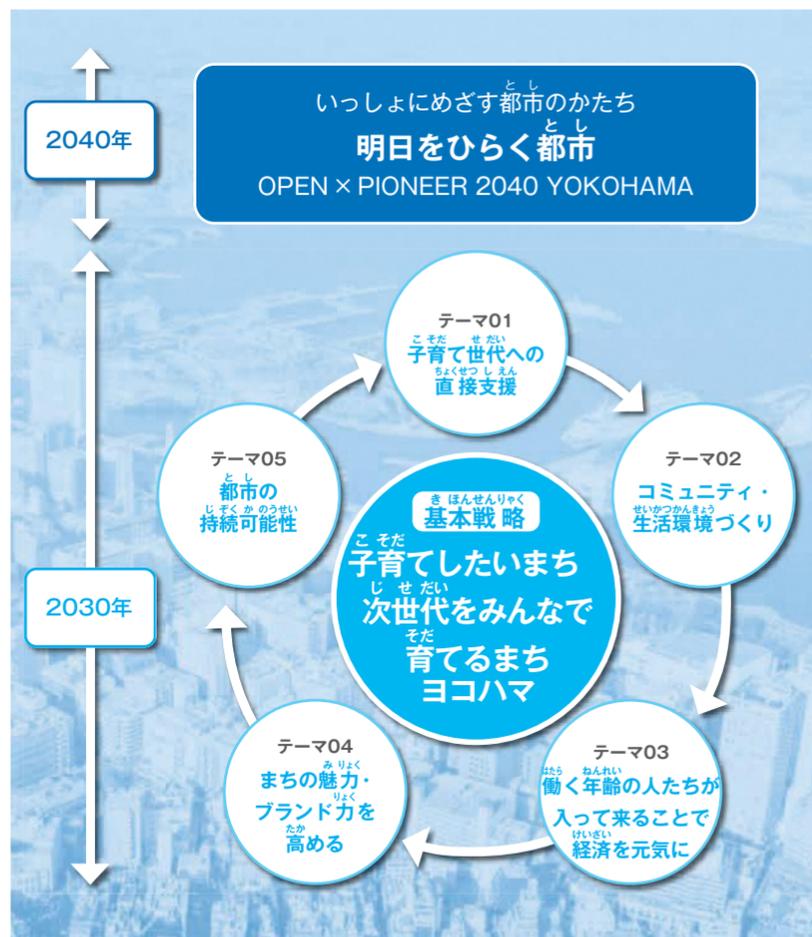
基本戦略

子育てしたいまち 次世代をみんなで育てるまち ヨコハマ

つぎの世代を育てて、いっしょに未来を切りひらく市民をふやし、都市の活力や持続可能性を高めます。そして、横浜の魅力を高めて、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選(えら)ばれる都市」をめざします。

基本戦略には5つのテーマがあります。2022年から4年間に特にとりくむ施策をまとめました。

テーマ	施策の例
テーマ01	・子どもを生むときの費用、子どもの医療費などの経済的負担をへらす ・すべての生徒が満足できる中学校給食を実現する など
テーマ02	・自治会町内会などの支援 ・子育て世帯にも居心地がいい図書館づくり など
テーマ03	・生活する範囲での移動を便利にする ・中規模・小規模事業者への支援 など
テーマ04	・ガーデンシティ横浜を、さらに進める ・3つの動物園の特徴を生かして、くつろげる場所をつくる など
テーマ05	・災害から命をまもるための地域防災の力を高める ・ゼロカーボンシティの推進 など



計画のかわいいことは、パンフレットなどをウェブページや、市役所市民情報センター、区役所広報相談係で見ることができます。



きくところ

政策局 政策課 TEL:045-671-2010 FAX:045-663-4613

しゅうしゅうしゃ ごみ収集車の火事が たくさん起きています！

生ごみなどに混ざったリチウムイオンバッテリーが収集車の中で燃え出すことがあります。コードレス掃除機や電気シェーバーなど、バッテリーをとりはずせない充電式の小型家電は、「べつの袋」に入れて、燃やすごみの日に出してください。

燃やすごみに
混ぜない

燃やすごみの日に、
生ごみとは「べつの袋」で



ごみの出しかたに
ついての記事は
こちらから

Plus



きくところ

資源循環局収集事務所か資源循環局業務課

TEL:045-671-3819 FAX:045-662-1225

むきよか はいき ぶつかいしゅうぎょうしゃ 「無許可」の廃棄物回収業者に 注意！

一度に大量の家庭ごみを出すために、業者にたのむときは、「一般廃棄物収集運搬業」の許可を受けた業者にたのんでください。

許可がない業者にたのむと、高い料金をとられたり、不法投棄(=捨ててはいけない場所に物を捨てること)をされたり、さまざまなトラブルにまきこまれるかもしれません。



「ヨコハマ3R夢！」
マスコット イーオ



業者を見わけるときにきをつけることや、
許可を受けた業者のさがしかたを
確認してください



きくところ

資源循環局一般廃棄物対策課

TEL:045-671-2547 FAX:045-663-0125



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩見」として届けていきます。

今月は、あまり知られていない幕末(=江戸時代の終わりごろ)の横浜、日本の風景についてです。

古い写真で見る幕末のころの横浜、日本の風景

たくさんの人がスマートフォンを持つようになって、写真は気軽なコミュニケーションツールの一つになってきました。横浜は、むかし外国人がたくさん住むところだったので、早い時期に写真が入ってきました。そのころ外国の写真家が横浜の風景を撮りました。日本のあちこちから来た人たちは、横浜の写真館でポートレートを撮影しました。横浜は日本の「写真が生まれた場所」の一つになりました。

1868年に明治時代が始まります。その前の年に、一人のカメラマンが日本に来ました。チャールズ・ウィード(Charles Leander Weed, 1824-1903)というアメリカ人です。ウィードは「マンモス・プレート」とよばれる大型のカメラを持ちこんで、江戸時代最後の年(1867年)の日本を旅しました。しかし、その作品は日本にはほとんど残りませんでした。そして、彼の名前も忘れられてしまいました。ところがウィードの写真31枚が2021年に見つかったのです。

大判サイズにプリントされたその古い写真には、横浜・金沢八景・鎌倉・

江戸(=今の東京)・長崎など、日本のあちこちの風景がはっきりと記録されています。横浜の山手から撮った写真には、日本人が建てた、半分アメリカやヨーロッパのような町なみがひろがっています。一方、金沢八景を写した写真には、海と岬の美しい景色があざやかにうつっています。

こんどの展覧会では、初めて、岡山氏が所有しているウィードの写真が公開されます。さらに、横浜開港資料館と国内のいろいろな所にあるウィードの作品も展示して、これまで紹介されることがなかった幕末日本の風景をよみがえらせます。みなさんも古い写真を見て、むかしの横浜と日本のことを思い返してみませんか。



▲金沢八景の九覧亭から野島(左側遠く)を見る
岡山洋二さん所有

かわいい
ことは、
こちらから



とくべつてん まぼろし しゃしん か 特別展「幻の写真家 チャールズ・ウィード

— 知られざる幕末日本の風景 —

3月12日(日)まで横浜開港資料館(みなとみらい線「日本大通り」駅から徒歩2分)で開催中です(入場料が必要です)。



きくところ

横浜開港資料館 TEL:045-201-2100 FAX:045-201-2102

しんがた せつしゆ じょうほう 新型コロナワクチン接種についての情報

さいしん じょうほう
最新の情報はこちら



※1月13日の情報をもとにしています。国の方針などによって、内容が変わることがあります。

かぶたいおう せつしゆ オミクロン株対応ワクチン接種

しゅうだんせつしゆ
集団接種 2月25日(土)ですべて終わります。

こべつせつしゆ
個別接種 3月の終わりまで行います。



かぶたいおう
オミクロン株対応ワクチンと、2022年11月8日以後の武田社ワクチン(ノババックス)は、どちらか1回だけの接種です。3・4・5回目として接種がすんだ人には、つぎの接種券は送られてきませんから、注意してください。



これから、 かんせんたいさく 感染対策をしてください

さんみつ
三密にならないようにして、
空気を入れかえる

にんずう ひじか
集まりは少ない人数・短い時間で、
おおごえ かいわ
大声で話さない

体のぐあいが悪いときは、
がいしゅつ
外出しない

けんさ げねつちんつうやく お
検査キットや解熱鎮痛薬を家に置く

せつしゆ さい 赤ちゃん和小さい子どもの接種(生まれてから6か月~4歳)

ワクチン接種をうけられる3月の終わりまでに3回の接種をうけられない場合でも、あるていどの効果はあると考えられます。できる範囲で接種することを考えてください。

4月とその後のワクチン接種については、感染状況や法律の上でどのように位置づけるかなど、国が決めようとしています。国の方針がわかたらすぐ、横浜市のワクチン接種がどうなるか、お知らせします。

よこはま しんがた
横浜市の新型コロナウイルス感染症についてきくところ TEL:0120-547-059 FAX:045-846-0500 1日24時間いつでも

しんがた せつしゆ
新型コロナワクチン接種についてきくところ TEL:0120-045-070 FAX:050-3588-7191

毎日9:00~19:00 ※小さい子ども、赤ちゃんの接種についての問い合わせは18:00まで

よこはま し とくべつ し 横浜市は「特別市」になることを めざします

とくべつ し 特別市ってなに？

くに じむ じむ ちほうじ ちたい けん し
国の事務以外のすべての事務を行う新しい地方自治体です。県と市で分かれている事務を市が行えば、二重の事務を完全になくして、市民サービスを向上することができます。

※「特別市」は、「特別自治市」の一般的なよびかたです。

とくべつ し ひつよう 特別市はどうして必要な？

とくべつ し ぎょうせい じむ てつづ かんたん ぎょう
特別市になれば、行政のむだがなくなり、事務手続きが簡単になって、行政サービスが今よりよくなります。特別市が早く実現できるようにと取り組んでいます。

よこはま とくべつ し たいこう はつひょう 「横浜特別市大綱」を発表しました

よこはま し とくべつ し はいけい し く じつげん
横浜市がめざす「特別市」の背景や仕組み、実現までのプロセスをまとめています。くわしいことは、ウェブページを見てください。



Twitterで、特別市などの
じょうほう ほうしん
情報を発信しています。

Twitterユーザー名
▶@ykhm_daitoshi

きくところ

せいさくきくせい と きかく か
政策局制度企画課 TEL:045-671-2952 FAX:045-663-6561

していと し しちやうかい 指定都市市長会 シンポジウムin横浜

とくべつ し せい と じつげん 特別市制度の実現にむけて

【日時】3月11日(土)15:30~17:30(15:00から入れます)

【会場】慶應義塾大学藤原洋記念ホール(港北区日吉4-1-1)

【参加できる人数】300人

【もうしこみかた】ウェブページまたはファクスで名前、電話番号、メールアドレスを書いて、もうしこんでください。

※もうしこんだ人が多すぎて参加できない場合は、3月10日までに連絡します。連絡がなければ、参加できます。



もうしこみなど、
くわしいことは
こちら

だい ぶ き ちやうこうえん 第1部 基調講演

ちほうせいど かいかく れきし てんぼう よてい
「地方制度改革の歴史と展望(予定)」

なかがわ たかもと そうむ だいじんせいむ かん
中川 貴元さん(総務大臣政務官)

だい ぶ パネルディスカッション

とくべつ し せい と じつげん
「特別市制度の実現にむけて」

よこはま し ちやう やまなか たけはる ひとつばしだいがかくきやうじゆ つし たく や
横浜市長の山中 竹春、一橋大学教授の辻 琢也さんのほか、スペシャル
ゲストも参加して、アナウンサーの佐藤 美樹さんの司会で、話し合います。